

氏名	武田 美津代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（学術）				
学歴	1984年埼玉県立短期大学第一看護学科、97年放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年文教大学大学院修士課程 人間科学研究科生涯学習専攻、08年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース				
経歴	1995年新潟県立看護短期大学助手、98-2002年埼玉県立衛生短期大学（埼玉県立大学短期大学部看護学科）助手、06年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、09-11年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース講師、15年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護技術学会、日本看護研究学会、日本褥瘡学会、日本排泄・ストーマリハビリテーション学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本生涯教育学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績					
(1) 著作					
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名
1	2024年度版 准看護師試験問題集	共著	あり	医学書院； p 434	阿部佳子、天賀谷隆、生井明浩、 <u>武田美津代</u> 他（解答者31名） 2023.4
(2) 論文					
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雜誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし				
(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	A県における訪問看護ステーション内の現任教育の現状と課題	共同	第54回日本看護学会学術集会、大阪	○ <u>武田美津代</u> 、林裕栄、水間夏子	2023.9
2	皮膚・排泄ケア認定看護師による介護老人福祉施設への遠隔褥瘡コンサルテーションの試み	共同	第54回日本看護学会学術集会、神奈川	○島田美穂、林裕栄、 <u>武田美津代</u> 、善生まり子、辻玲子	2023.11
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	訪問看護師育成のための教育ステーションの機能と課題に関する研究	研究分担者		2020.4～2024.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護過程論		16	科目責任者と授業の事前検討を行い、演習のサポートを行った。 看護過程の展開の演習では、対面で4～5グループ程度を担当してペーパーペイシェントの事例を使った。臨床経験がなく、看護援助方法を見履修の1年生が事例を理解できるよう助言しながら、看護計画立案の指導を行った。	
2	看護方法Ⅰ		16	科目責任者と協力し、技術演習が習得できるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。学内演習は限られた時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。	

3 看護方法Ⅱ		16	科目責任者と協力し、技術演習が習得できるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。原則を意識し、安全面に配慮をして時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。
4 看護方法Ⅲ		16	科目責任者と協力し、技術演習が習得できるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。原則や安全面に配慮し、快適なケアの経験を通して看護の基本技術を学習できるように留意した。
5 看護方法Ⅳ	○	16	科目責任者して授業を計画し、感染対策と安全面を考慮しながら対面による講義と演習を行った。技術演習は自宅でも動画視聴を行えるように準備し、手技のイメージができるように工夫した。
6 看護方法Ⅴ		16	科目責任者と協力し、授業が円滑に進むようにサポートした。感染対策をしながら対面のグループワークなどに参加して学生指導を行った。
7 感染管理	○	8	対面による授業運営を準備し、グループワークや体験学習、ゲストスピーカーを招いて実践的な臨床の感染対策が学べるように計画した。講義では欠席者にも対応できるようにオンデマンドで対応した。
8 病態生理学	○	15	科目責任者として非常勤講師と連携を図り、授業を聴講しながらサポートした。全講義終了後には受講生の事例報告会を行い、意見交換に参加しながら評価を行った。

#### (2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1 該当なし				

#### (3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1 ヒューマンケア体験実習	○	2023.9		科目統括責任者と連絡を密にし、協力しながら担当グループの授業運営をサポートした。連日の報告会の準備、運営を行った。
2 基礎看護学実習Ⅱ		2023.10		2年生計11名（1グループ5～6名×2）引率し、臨床における実習指導を行った。学生2名で患者1名を受け持つことになり、主体的に看護実践ができるよう病棟師長・指導者と連携しながら工夫した。実習施設の感染対策が厳重な中、学生の健康管理の指導を徹底した。患者・学生の安全確保に留意し、指導者と連携を密にして看護過程の演習を行った。
3 基礎看護学実習Ⅰ		2024.2		2名の教員で34名の学生を引率し、学生の見学実習状況を見守りながら指導した。学生は初めての臨地実習であること、実習施設の感染対策が厳重な中で実習中の体調管理の指導徹底に努めた。グループワークやカンファレンスを通して実習目標到達できるよう介入した。

#### (4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1 卒業論文		2023.4～12	主指導	3名
2 修士論文		2023.4～2024.3	主指導（指導教員）	名 副指導（指導補助教員） 1名

#### (5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1 神尾記念病院看護部 看護研究指導		2023.4～2024.2	病院内3部署の看護師（計9名）が実施する看護研究指導を行った。看護研究の講義、研究計画書作成、アンケート作成・集計、論文作成、研究発表のためのスライド作成など、一連にかかり対面だけでなくメールを介しても指導した。

2	埼玉県立大学大学院修士論文審査 審査員	2023.10～2024.2	看護学専修の院生1名について副査を務めた。主査と連携を密にして審査した。
---	---------------------	----------------	--------------------------------------

#### 4. 社会貢献活動

##### (1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県新卒者など訪問看護師養成プログラム	埼玉県訪問看護ステーション協会	新卒者などで訪問看護師養成プログラム（半年コース、前期・後期）の参加者の事例検討会に参加し、看護検討を行った。参加者の所属する訪問看護ステーション管理者と会議し、指導介入の困難や企画運営に関する意見交換を行った。	2023.4～2024.3
2	埼玉ストーマリハビリテーション講習会	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	ストーマサイトマーキング班としてメンバーと実技・演習内容を企画し、当日の指導をした。	2023.12

##### (2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	委員	2015.11～現在
2	埼玉ストーマリハビリテーション実習準備委員会	委員	2019.4～現在
3	新卒者など訪問看護師養成プログラム作成委員会	委員、ワーキング委員兼務	2016.4～現在

##### (3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

##### (4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

#### 5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	学生支援	看護学科3年生担任	2022.4～
2	全学の委員会及びセンター業務等	研究推進部会 部会員	2023.4～
3	大学広報活動	オープンキャンパス 教員相談担当	2023.8

#### 6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

#### 7. 特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

#### 8. 特記事項

1	該当なし
---	------